

青鵲課題研究「成果発表会（リハーサル）」プレゼンテーション評価基準表

項目	評価基準		
	十分満足できる（A）	おおむね満足できる（B）	努力を要する（C）
① 発表用スライドの作成能力 【知】【主】	発表時間に適当な枚数のスライドを用意できており、さらに文字の大きさや情報量が適切なスライドを作成することができる。	発表時間に適当な枚数のスライドを用意できているが、文字の大きさや情報量が適切なスライドを作成することができていない。（文字が小さすぎて見にくいスライド、多くの情報を詰め込みすぎたスライド、等）	発表時間に適当な枚数のスライドを用意できていない。（発表の8分に対してスライドが多すぎる、または少なすぎる）
② プレゼンテーション能力 【知】	スライドの内容の説明について、言葉に詰まることなく大きな声ではっきりと発表できており、さらに視線を上げて聞き手を意識しながらしゃべることができる。	スライドの内容の説明について、言葉に詰まらず大きな声ではっきりと発表しているが、発表原稿ばかりに気を取られていて聞き手を意識できていない。	スライドの内容の説明について、言葉に詰まったり小さな声でぼそぼそと発表したりしている。
③ 実験結果をまとめる能力 【思】	実験目的、実験手順、実験結果が適切にまとめられており、写真・動画やグラフ・表を正しく用いて聞き手に伝わりやすい工夫をしている。	実験目的、実験手順、実験結果が適切にまとめられているが、写真・動画やグラフ・表を正しく用いて聞き手に伝わりやすい工夫をしていない。（文字だけで示された実験手順、軸ラベル・単位などが正しく表示されていないグラフや表、等）	実験目的、実験手順、実験結果が適切にまとめられていない。（実験目的や実験手順がまとめられていない、実験結果が何のデータであるのかを示していない、等）
④ 研究全体をまとめる能力 【思】【主】	研究の目的から研究のまとめに至るまでの筋道が通っており、実験結果からの考察や今後の展望がデータや事実に基づいて論理的にまとめられている。	研究の目的から研究のまとめに至るまでの筋道が通っているが、実験結果からの考察や今後の展望が飛躍していて論理的にまとめられていない。	研究の目的から研究のまとめに至るまでの筋道が通っていない。

【知】… 知識・技能    /    【思】… 思考・判断・表現    /    【主】… 主体的に学習に取り組む態度